

2018年度事業報告書

2018年4月1日 から 2019年3月31日まで

特定非営利活動法人スクール・セクシュアル・ハラスメント防止
関東ネットワーク

1 事業の成果

- ①毎週土曜日に実施している電話相談およびメール相談を継続して実施した。セクハラ被害に対する社会的関心は高まったが、相談件数はほぼ昨年並みであった。子どもの性被害に関する電話相談に関して講師を招いてケース検討会を開き、スタッフのスキルアップを図った。
- ②昨年度に引き続き、神奈川県教育委員会から人権教育研修を受託し、県立特別支援学校の教職を員対象とした「スクール・セクハラ防止ワークショップ」を実施したほか、都内学童保育指導員や都内私立高校および埼玉県立高校の教職員を対象としたスクール・セクハラ防止講座を実施して、研修を広げることができた。
- ③学校以外でも、埼玉県内の地方自治体や女性グループからの依頼により、スクール・セクハラ防止をテーマにした人権教育・啓発講演会やワークショップを実施し、地域の民生児童委員や人権擁護委員、男女共同参画推進活動グループなど、様々な立場で活躍する市民の方々にもスクール・セクハラ防止の重要性を理解してもらうことができた。
- ④講演会「医療現場からみた若者の性」を開催し、10代の性暴力被害の現状と課題、医療機関による社会的支援や学校における予防教育と支援体制の必要性などについて、市民と共に学習を深めることができた。
- ⑤神奈川県内で学校における子どもの人権問題に取り組むスクール・ソーシャル・ワーカーや弁護士等のグループが主催する学習会に招かれ、スクール・セクハラ防止ワークショップ短縮版を体験していただきながら、よりよい問題解決に向けた意見交流を行うことができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 542 】千円)

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
スクール・セクシュアル・ハラスメントに関する電話等による相談支援事業	a) 電話相談～毎週土曜日午後2時～7時まで2人当番制で電話相談を受け、必要な支援を行う。 b) メール相談 c) 面接相談 d) 同行支援	a) 2018/4/7～2019/3/30 (12/29を除く全52回) b) 2018/4/1～2019/3/31 c) 3/25 d) 特になし	a), b) 共に都内法人事務所 c) 都内施設	a) スタッフ 2名 x 5 2回 = 104名(延べ) b) スタッフ = 9名	a)～b) 一都六県一般市民・児童生徒約150名	275
スクール・セクシュアル・ハラスメントに関する相談員等の人材育成研修事業	a) 研修用「女性情報」購読 b) 電話相談ケース検討会	a) 2018/4月～2019/3月 b) 2018/6/17	a) 都内法人事務所 b) 都内集会施設	a) 正会員 b) 講師 1名 電話相談スタッフ 9名	正会員	80

<p>スクール・セクシュアル・ハラスメントに関する講演会の開催等による啓発研修事業</p>	<p>a) 神奈川県教育委員会委託・教職員対象「スクール・セクハラ防止ワークショップ」を実施 b) 都内私立高校教職員を対象に「スクール・セクハラ防止講演会」を実施 c) 埼玉県立高校教職員対象に「スクール・セクハラ防止ワークショップ」を実施 d) 都内学童保育指導員を対象に「スクール・セクハラ防止ワークショップ」を実施 e) 講演会「医療現場から見た若者の性」の開催 f) 埼玉県内市民対象人権教育・啓発講演会「スクール・セクハラを防止するために」を実施 g) 埼玉県内女性グループ対象「スクール・セクハラ防止ワークショップ」の実施</p>	<p>a) 2018/8/23、8/30、10/10 計3校 b) 2018/8/30 c) 2018/12/3 d) 2018/7/10 e) 2018/7/22 f) 2019/1/25 g) 2019/2/3</p>	<p>a) 神奈川県立特別支援学校 b) 都内学校施設 c) 埼玉県立高校 d) 都内施設 e) 都内集会施設 f) 埼玉県内集会施設 g) 埼玉県内集会施設</p>	<p>a) スタッフ計7名(講師として) b) スタッフ1名(講師として) c) スタッフ3名(講師として) d) スタッフ2名(講師として) e) 講師2名、スタッフ9名 f) スタッフ2名(講師として) g) スタッフ2名(講師として)</p>	<p>a) 教職員 約270名 b) 教職員 約60名 c) 教職員 約60名 d) 学童保育指導員等約30名 e) 医療従事者・学校関係者・市民30名 f) 市民・市職員 約70名 g) 市民約15名</p>	<p>129</p>
<p>スクール・セクシュアル・ハラスメントに関する広報・出版等による情報提供事業</p>	<p>a) ニュースレターの発行～第27号および第28号 b) ブログの更新</p>	<p>a) 2018/4/22 及び10/14 b) 適宜</p>	<p>a), b) 共に 都内法人事務所</p>	<p>a) スタッフ9名 b) スタッフ1名</p>	<p>a) 会員・賛助会員・出前講座受講者及び教育関係者など 約600名 1都2県教育委員会・約120か所 b) 一般市民</p>	<p>49</p>
<p>スクール・セクシュアル・ハラスメントに関する実態調査等による調査研究事業</p>	<p>a) 文部科学省のセクシュアル・ハラスメント関係担当者(初管局教育企画課教育公務員係)との意見交流</p>	<p>a) 2019/1/12</p>	<p>a) 文科省</p>	<p>a) スタッフ2名、SSHP全国ネットワーク1名 計3名</p>	<p>教育委員会 学校関係者</p>	<p>0</p>
<p>セクシュアル・ハラスメント関連団体等との交流会の開催</p>	<p>a) スクール・ソーシャル・ワーカー&弁護士グループの学習会・意見交流会に参加 b) 日教組女性部長との懇談 c) 刑法改正市民プロジェクト院内集会への参加 d) 関連団体賛助会員</p>	<p>a) 2018/4/22、及び9/7 b) 2019/1/8、及び2/18 c) 2018/11/22 d) 「エンパワメントかながわ」</p>	<p>a) 都内及び神奈川県内集会施設 b) 都内集会施設 c) 衆議院第一議員会館</p>	<p>a) 4/22 スタッフ9名 9/7 スタッフ3名 b) スタッフ3名 c) スタッフ1名</p>	<p>a) SSW・弁護士・大学生等 約20名 b) 小・中学校教職員及び関係者 c) 一般市民</p>	<p>9</p>

(2) その他の事業

今年度は実施せず

平成30年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人

スクール・セクシュアル・ハラスメント防止
関東ネットワーク

(単位：円)

科 目	金	額
(経常収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費・入金収入		
正会員費	600,000	
賛助会費	170,000	770,000
2 事業収入		
(1) SSHに関する電話等による相談支援	0	
(2) SSHに関する相談員等の人材育成事業	0	
(3) SSHに関する講演会の開催等による啓発研修事業	223,500	
(4) SSHに関する広報・出版による情報提供事業	0	
(5) SSHに関する実態調査等による調査研究事業	0	
(6) SH関連団体等との交流会の開催	15,000	238,500
3 補助金等収入		
地方公共団体補助金収入	0	
民間助成金収入	0	0
4 寄付金収入	0	0
5 その他収入		
利息収入	0	
任意団体からの繰入金	0	
前期会費未収入金	0	0
6 その他の事業会計からの繰入		
経常収入合計		1,008,500
II 経常支出の部		
1 事業費		
(1) SSHに関する電話等による相談支援	275,359	
(2) SSHに関する相談員等の人材育成事業	80,441	
(3) SSHに関する講演会の開催等による啓発研修事業	129,459	
(4) SSHに関する広報・出版による情報提供事業	48,721	
(5) SSHに関する実態調査等による調査研究事業	0	
(6) SH関連団体等との交流会の開催	9,320	543,300
2 管理費		
家賃	451,640	
事務人件費	0	
什器備品費	0	
旅費・交通費	2,610	
光熱水費	11,422	
運営費	0	
会議費	0	
消耗品費	1,920	
通信運搬費	4,228	
印刷製本費	0	
租税公課	0	
雑費	0	
経常支出合計		471,820
経常収支差額		1,015,120
III その他資金収入の部		
1 固定資産売却収入		

その他の資金収入合計			
IV その他の資金支出の部			
1 固定資産取得支出			
その他の資金支出合計			
当期収支差額			-6620
前期繰越収支差額			79667
次期繰越収支差額			73047
(正味財産増減の部)			
V 正味財産増加の部			
1 資産増加額			
当期収支差額(再掲)	-6620	-6620	
2 負債減少額			
増加額合計			-6620
VI 正味財産減少の部			
1 資産減少額			
当期収支差額(再掲)(マイナスの場合)	-6620	-6620	
2 負債増加額			
減少額合計			-6620
当期正味財産増加額(又は減少額)			-6620
前期繰越正味財産額			79667
当期正味財産合計			73047

(注記) 備考の5を参照

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 タイトルの年度の後の空欄部分には、「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては、「その他の事業」と記載し、事業毎に区分して別葉として作成する。
- 3 定款上、「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、前事業年度に実施しなかった場合でも収入支出0円の収支計算書を作成する。
- 4 「事業費」とは、法人の事業の実施のために直接要する支出で、管理費以外のものをいい、会計処理上は、事業の種類毎に区分して記載する。事業費の例としては、「〇〇事業費」(注 当該事業の実施のために直接要する人件費・交通費等の費用が含まれる。)というように事業毎に記載する。
- 5 重要な会計方針等を計算書類に対する注記を欄外下に記載する。
(重要な会計方針とは、原価償却の方法及び資金の範囲等をいう。)
- 6 管理費の支出規模(管理費の合計)は、総支出額(事業費及び管理費の総計)に占める割合の2分の1以下であることが必要。(事業費>管理費)
(詳しくは東京都における運用方針参照のこと。)
- 7 特定非営利活動促進法第5条第1項により、その他の事業において収益を生じたときは、これを特定非営利活動のために使用しなければならないとあるので、その他の事業の収益は特定非営利活動に係る事業会計に全額繰り入れることが必要。
(詳しくは東京都における運用方針参照のこと。)

平成30年度会計貸借対照表

平成31年3月31日現在

特定非営利活動法人スクール・セクシュアル・ハラスメント防止関東ネットワーク

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	30710	
郵便預金	42337	
流動資産合計		73047
2 固定資産		
固定資産合計	0	0
資産合計		73047
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	0	
流動負債合計		0
2 固定負債		
固定負債合計	0	0
負債合計		0
III 正味財産の部		
正味財産合計		73047
負債及び正味財産合計		73047

平成30年度財産目録

平成31年3月31日現在

特定非営利活動法人スクール・セクシュアル・ハラスメント防止関東ネットワーク

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	30710		
郵便預金中野支店	42337		
未収入金			
未収入会費			
流 動 資 産 合 計		73047	
2 固定資産	0		
固 定 資 産 合 計		0	
資 産 合 計			73047
II 負債の部			
1 流動負債			
未払い金	0		
流 動 負 債 合 計		0	
2 固定負債			
固 定 負 債 合 計		0	
負 債 合 計			0
正 味 財 産			73047

2018年度 年間役員 名簿

(2018年4月1日から 2019年3月31日まで)

特定非営利活動法人スクール・セクシュアル・ハラスメント防止関東ネットワーク

1 確認事項(法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。)

以下の役員には、欠格事由者が含まれません。(法第20条関係)各役員について、親族の規定に違反していません。(法第21条関係)

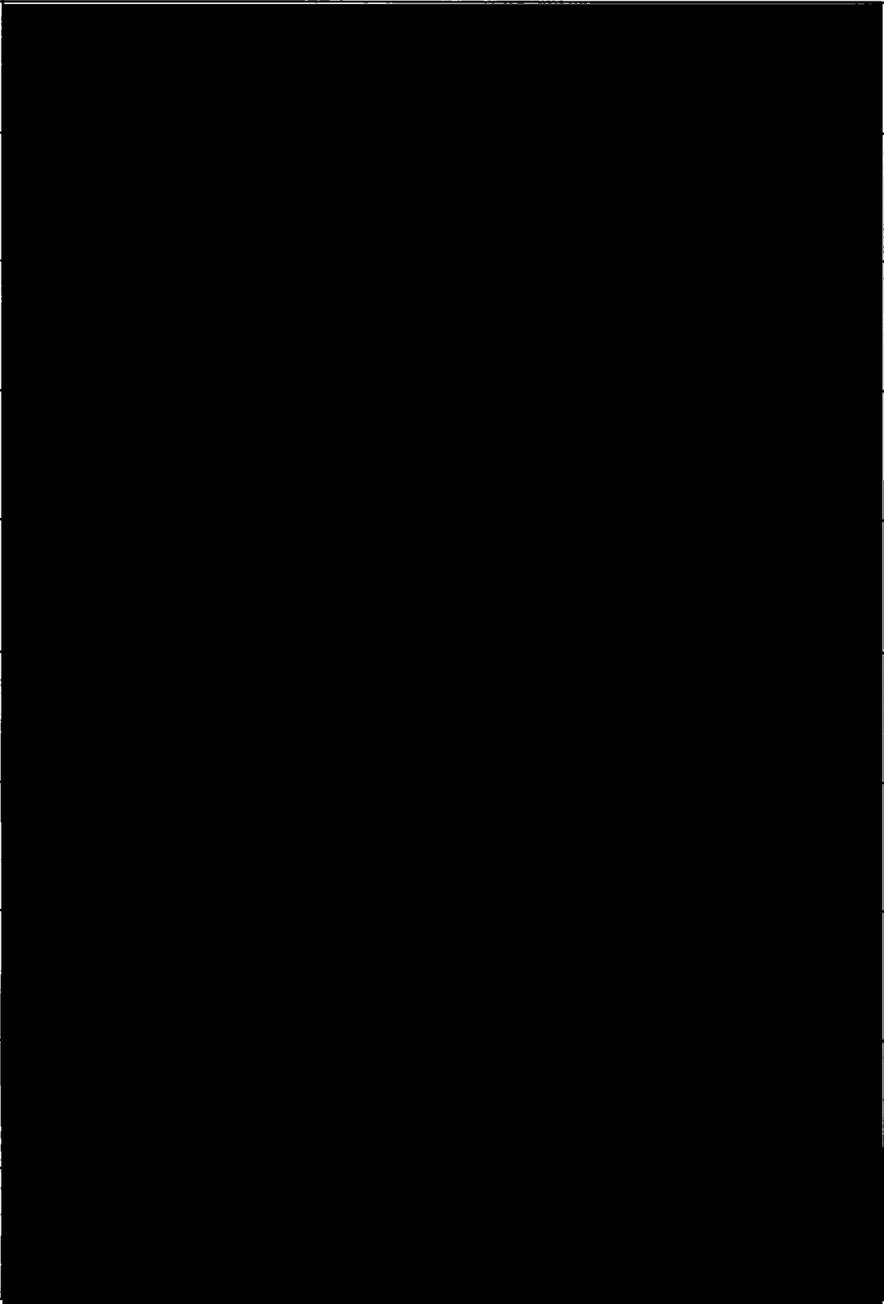
2 役員一覧

役名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
理事	イリエ ナオコ 入江 直子		2018年4月1日～ 2019年3月31日	無
理事	トクナガ キョウコ 徳永 恭子		2018年4月1日～ 2019年3月31日	無
理事	ヨシオカ ムツコ 吉岡 睦子		2018年4月1日～ 2019年3月31日	無
理事	カメイ アキコ 亀井 明子		2018年4月1日～ 2019年3月31日	無
理事	カヤ エミコ 賀谷 恵美子		2018年4月1日～ 2019年3月31日	無
理事	フカワ フミエ 府川 富美江		2018年4月1日～ 2019年3月31日	無
理事	アサクラ ヤスコ 朝倉 泰子		2018年4月1日～ 2019年3月31日	無
理事	フルカワ (イガラシ) 古川 (五十嵐) トシエ とし江		2018年4月1日～ 2019年3月31日	無
理事	ナカジマ (クサ) 中嶋 (草) ジュンコ 淳子		2018年4月1日～ 2019年3月31日	無
理事	ワタベ 渡部 みどり		2018年4月1日～ 2019年3月31日	無
監事	アツミ カオル 厚美 薫		2018年4月1日～ 2019年3月31日	無

社員のうち10人以上の者の名簿

2019年3月31日現在

特定非営利活動法人スクール・セクシュアル・ハラスメント防止関東ネットワーク

	氏名	住所又は居所
1	朝倉 泰子	
2	厚美 薫	
3	古川（五十嵐）とし江	
4	入江 直子	
5	賀谷 恵美子	
6	中嶋（草）ジュンコ	
7	徳永 恭子	
8	府川 富美江	
9	渡部 みどり	
10	木村 順子	